

# 交通分野の脱炭素化の最前線

## 第16回EST脱炭素交通大賞 応募説明会



日時

2026

7/22

WED

13:30~14:55

参加申込は  
こちらから



開催  
方法

オンライン配信



環境的に持続可能な交通

Environmentally Sustainable Transport

気候変動対策として2050年カーボンニュートラルを目指すわが国では、脱炭素を目指した経済社会システムの変革（GX）が推進されていますが、交通分野での脱炭素化の視点は不足しているのが現状です。脱化石燃料のほか、公共交通ネットワークの充実や利用促進などの過度な自動車利用の抑制に向けた取組みが求められています。自治体では、交通計画と都市計画の連携や、地球温暖化対策計画における交通分野の取組みの位置づけも必須のものとなっています。

EST（環境的に持続可能な交通）は、1990年代後半にOECDにおいて提案された現在のSDGsにも通じる考え方であり、わが国でも学識経験者、関係団体、関係省庁等からなるEST普及推進委員会が普及活動を展開してきました。本委員会では、交通分野の脱炭素化の推進のためには、自治体が長期的視野に立って交通・環境政策を策定・実施することを促すとともに、「地域で交通環境対策を実践している団体（自治体、企業、市民団体等）の優れた取組み事例を発掘し、広く紹介する」ことが重要と考えています。そこで、2009年度に創設し第15回まで続けてきた「EST交通環境大賞」を発展的に継承し、「EST脱炭素交通大賞」に名称変更します。

本イベントでは、交通分野の脱炭素化を推し進めるために「第16回EST脱炭素交通大賞」の応募説明を行うとともに、前半ではこれまでEST交通環境大賞を受賞した団体の取組みをご紹介します。

主 催

EST普及推進委員会、  
公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

後 援

国土交通省、環境省

# プログラム

13:30 ● **開会挨拶**

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

13:35 ● **第51回 EST脱炭素交通創発ミニセミナー**

■ **取組紹介1** (10分程度)

「再エネ由来の電力を使った電気バスの運行や公共交通の利用促進」

第14回EST交通環境大賞 大賞(国土交通大臣賞)受賞  
伊勢地域公共交通会議

■ **取組紹介2** (10分程度)

「グリーンスローモビリティ(グリスロ)で実現する脱炭素と地域課題解決」

第14回EST交通環境大賞 大賞(環境大臣賞)受賞  
一般社団法人陸前高田グリーンスローモビリティ、  
陸前高田市

■ **取組紹介3** (10分程度)

「全国タクシーEV化プロジェクト」

第14回EST交通環境大賞 優秀賞受賞  
第一交通産業株式会社

14:05 ● **第16回 EST脱炭素交通大賞 応募説明会**

■ **EST脱炭素交通大賞について** (20分程度)

EST普及推進委員会 委員長  
(名古屋大学大学院環境学研究科 教授) 加藤 博和

■ **募集要項と審査について** (20分程度)

EST普及推進委員会事務局

■ **質疑応答** (10分程度)

14:55 ● **閉会**

第  
1  
部

第  
2  
部

※上記の発表者・内容等は事情により予告なく変更することがございます。ご了承ください。

最新の情報は「環境的に持続可能な交通(EST)ポータルサイト」「環境的に持続可能な交通(EST)ポータルサイト」をご覧ください。

**参加費**

**無料**

お問い合わせ先: EST普及推進委員会事務局 (公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団[担当:中道、岡本])

お問い合わせフォーム: <https://www.estfukyu.jp/form1/>